

宮崎工業高等学校 建築科の魅力

1 建築とは

建築（Architecture）とは、芸術（Art）と技術（Technology）が融合した魅力ある学問、分野です。日本は建築を工学部で学ぶ大学が多いですが、海外の大学は建築を芸術学部で学ぶ大学が多いです。

2 建築科での学び

衣食住は人間の暮らしに欠かせないものです。建築科では、その中のひとつである「住」について学びます。住宅をはじめ、さまざまな建築物の仕組みや建築方法を学び、人々の生活を豊かにする空間をつくる勉強をし、地図に残る仕事に就きます。

3 建築業界について

建築の仕事が完全になくなることはなく、景気に大きく左右されにくい特徴があります。

- (1) 昭和40～60年代に建設した建築物の建て替え時期が近づいています。鉄筋コンクリート造建築物は約50年が寿命です。
- (2) この10年で高校・大学の建築科が減少し、若い働き手が少なくなってきました。そのため、建設業労働者の平均年齢が高くなっており、業界全体の課題となっています。
- (3) 誰でもできる仕事は採用試験の倍率が高いが、専門技術職は受験者が少なく試験に有利です。
例えば、公務員試験の一般行政職（事務）は受験条件が学歴と年齢制限のみのため多くの人が受験可能です。その一方で、建築専門職は、高校・大学の建築科卒業者のみ受験可能なことが多く応募者が限定されます。
- (4) 業界天気図等による建設業界の今後の見通しも、今後ゆるやかに推移すると予測されています。コロナ渦にありながら、国内経済の中での需要もあり就職後は安定した収入を得ることができます。

4 建築科を勧める理由

- (1) 学んだ専門知識を活かし県内および県外就職や進学ができます。特に、就職は県内外の大手企業へ多数就職できます。
- (2) 学んだ専門知識を深める、建築に関する資格を多数取得できます。
- (3) 卒業後は2級建築士および木造建築士試験の受験資格が得られます。
試験合格後は、建築に関する2年以上の実務経験を積むことにより、2級建築士および木造建築士として活躍できます。

